

第18回私立短期大学入試広報担当者研修会 第1分科会 研修報告書

秋草学園短期大学
実践女子大学短期大学部

秋草 誠
周東 正紀

メインテーマ

オープンキャンパスの参加者増対策について

【Ⅰ 分科会の目標設定】

オープンキャンパスの参加者増について、短大の設置されている状況は様々違うため、分科会での気づきやネットワークを重視する分科会運営を行うことを伝えた。同時に、この分科会で得られたことを、自大学のサイズに合わせて実行できるように学内での仲間づくりが必要だと気づく目標を設定した。

【Ⅱ 分科会の実施内容(スケジュール)】

1日目

16:30~17:30 607 講義室 60分

- ① 運営委員挨拶と今後の分科会運営について説明 10分
- ② 各自1分自己紹介 20分
- ③ 翌日からマンダラチャートの大きなタイトル8つを考える 30分

10:15~12:00 607 講義室 105分

- ④ マスマンダラチャートを使ったグループワーク 105分

13:00~15:00 607 講義室 120分

- ⑤ 桂運営委員からの講話 30分
- ⑥ 山田運営委員からの講話 30分
- ⑦ まとめのためマンダラチャートを使ったグループワーク 30分
- ⑧ グループの分科会内発表 30分



【Ⅲ 分科会の総括】

「オープンキャンパスの参加者増対策について」を主テーマとして研修を行い、参加者は新たな気づきとネットワークづくりが出来た。オープンキャンパスの参加者増は、募集活動全体から考え受験に繋がる一歩であることを共通理解できた。

新たな情報とネットワークを自学に持ち帰り、実行するためには学内の仲間づくりが重要なポイントだと気づいてくれた参加者が多かった。内容は成果シートの通り下記に報告する。



【Ⅳ 参加者の成果シート（まとめ）】

・自大学を好きになる事から始めようと思った。・一緒に大学をよくしていこうと思える仲間を増やしていきたいと思います。・今回の研修を整理して、教職員に信頼され、巻き込める人間になりたいと思いました。・OC学生スタッフの教育体制強化。・同じ悩みを共有し、新しい情報を得たことでモチベーションアップにつながりました。・学生募集、OCの集客に結論はないということ。ただ、努力している大学は努力し続けていることがわかった。・OCのマンネリ化を防ぐためにも、見直しの開始時期を早め、各教員との反省を踏まえて、活性化していきたい。・対話することの大切さや他大学とのつながりの大切さを学んだ。・学内で一つの目標に向かって頑張っていけるように協力し合える仲間づくりから始めて、一緒にfanができる短大をつくっていきたい。・それぞれの短大の取り組みや悩みなど共通することが多々あり、知識の向上（インプット）ができた。・自学を愛し、全力で考え続けること。・一緒に動いてくれる仲間と語り、改革に動き出す準備をする予定です。